

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 33 週(8 月 11 日～ 8 月 17 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.59	(1.88)	→	↘	↗	↗↗
2	ヘルパンギーナ	1.00	(1.76)	↓	↓	↓	↘
3	咽頭結膜熱	0.79	(0.65)	→	→	↗	↑
4	A群溶連菌咽頭炎	0.53	(0.62)	↘	↘	↘	↓
5	水痘	0.50	(0.59)	↘	↘	↓	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↗↗**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

ヘルパンギーナは先週より更に減少しており、例年同時期の報告数とほぼ同じとなりました。郡山保健所管内でも報告数は減少しており、県内全域で警報は解除となりました。

咽頭結膜熱の報告数は葛城保健所管内では増えています。他の地域の報告数は先週とほぼ変わらず、県全体としては例年同時期よりもやや多い状況です。4歳未満が7割を占めました。

感染性胃腸炎、水痘はいずれも横ばいで例年と比較してもほぼ同じレベルで推移しています。A群溶連菌咽頭炎は奈良市での報告がやや多いです。

今週もインフルエンザ及びRSウイルスの報告があります。予防のために感染者との接触は避けるとともにマスクの着用やうがい、手洗いをしましょう。

平成26年10月1日から、水痘ワクチンが定期接種となります

水痘とは

いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスというウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。水痘にはワクチンがあり、現在国内では乾燥弱毒生水痘ワクチン(以下、水痘ワクチン)が用いられています。水痘ワクチンの1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。

対象年齢 生後12ヶ月から36ヶ月までの方。

接種期間 生後12ヶ月から15ヶ月までに初回接種を行い、6ヶ月から12ヶ月の間隔で2回目接種を行います。

経過措置 生後36ヶ月から生後60ヶ月までの方には1回接種。ただし、平成26年度限りです。

定期接種の実施主体は市町村となります。お住まいの市町村にお問い合わせください。

<参考>水痘ワクチンの定期接種Q&A(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000052282.pdf>



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 33 週 8 月 11 日 ~ 17 日

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	2	3
インフルエンザ	1 (0.02)			1 (0.09)			
小児科定点数	35	7	10	7	7	1	2
RSウイルス感染症	1 (0.03)				1 (0.14)		
咽頭結膜熱	27 (0.79)	3 (0.43)	6 (0.60)	4 (0.57)	12 (1.71)		2 (1.00)
A群溶連菌咽頭炎	18 (0.53)	7 (1.00)	4 (0.40)	3 (0.43)	3 (0.43)		1 (0.50)
感染性胃腸炎	54 (1.59)	7 (1.00)	10 (1.00)	8 (1.14)	22 (3.14)	2 (2.00)	5 (2.50)
水痘	17 (0.50)	10 (1.43)	6 (0.60)			1 (1.00)	
手足口病	4 (0.12)	1 (0.14)		3 (0.43)			
伝染性紅斑	1 (0.03)		1 (0.10)				
突発性発しん	13 (0.38)		4 (0.40)	5 (0.71)	2 (0.29)	2 (2.00)	
百日咳							
ヘルパンギーナ	34 (1.00)	12 (1.71)	10 (1.00)	5 (0.71)	3 (0.43)	4 (4.00)	
流行性耳下腺炎	5 (0.15)	3 (0.43)	1 (0.10)	1 (0.14)			
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1
急性出血性結膜炎							-
流行性角結膜炎							-
基礎定点数	6	1	2	1	1	1	0
細菌性髄膜炎							-
無菌性髄膜炎							-
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)					1 (1.00)	-
クラミジア肺炎							-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							-

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(葛城3、桜井1、郡山1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌2件(奈良市1、郡山1)
4類感染症	
5類感染症	急性脳炎1件(桜井1)

❖ 第33週のトピックス ❖

エボラ出血熱に関するQ&A(厚生労働省)
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ebola_qa.html

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女														1							1	5966	
RSウイルス感染症	男女			1																		1	134	
咽頭結膜熱	男女		1	2	4	1	1							2								13	379	
A群溶連菌咽頭炎	男女			1	1	1	1	1	1	1	1	2	2		1							5	634	
感染性胃腸炎	男女	1	3	3	1	2	3	1	1	1			8	1	1							26	2849	
水痘	男女		1	3	4	1	1		2													12	498	
手足口病	男女					1					1											1	70	
伝染性紅斑	男女						1															1	34	
突発性発しん	男女		2	4																		6	198	
百日咳	男女		1	4	2																	7	156	
ヘルパンギーナ	男女		1	6	3	1		2					1									14	617	
流行性耳下腺炎	男女	1	2	2	6	4	1					1	1									20	564	
流行性角結膜炎	男女		1		1		2															4	66	
急性出血性結膜炎	男女																						1	59
細菌性髄膜炎	男女																							54
無菌性髄膜炎	男女																							68
マイコプラズマ肺炎	男女			1																		1	3	
クラミジア肺炎	男女																							3
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							18

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〻 過去10年平均

